

# 「みよし会」7月例会 小倉競輪場で開催しました

夢追塾同窓会3期会の「みよし会」は7月28日（木）、日本競輪の発祥地である「小倉競輪場」で開催。14人が参加して競輪競技の歴史やルールを学ぶとともに、ギャンブルとしての競輪も実体験しました。



この日は参加者各自がマイカーやモノレール、バスなどを使って午後4時半ごろ北九州メディアドーム（小倉北区三萩野3丁目）の正面入り口に集合。貸切予約していた7階の「ロイヤルルーム」で例会を開会しました。みよし会の永吉会長から開催趣旨説明やスケジュール案内のあと、日本競輪の歴史や現状、競輪のルールや車券の買い方などを詳しく解説したDVDを鑑賞。また競輪場の担当者から小倉競輪の状況を説明してもらいました。小倉が競輪発祥の地となったのは、昭和23年、第3回国体が福岡県で開催されることになった際、当時全国的な人気競技だった高校野球の開催地獲得に乗り出した小倉市が、施設建設などに莫大な費用がかかるため引き受け自治体なかった「自転車競技」とセットで引き受けることで獲得に成功したのだそうです。新設した競輪場を国体の後は「ギャンブル競輪場」として市財政に寄与させるというアイデアだったそうです。以後は多くの自治体が小倉市のまねをしたため、競輪が全国に広まり、日本が自転車競技王国になったというエピソードを聞き参加者は皆びっくりしていました。

そのあとはそれぞれが持ち寄ったビールやお茶などで「乾杯!」。弁当を食べたりしながら、すぐ窓の下のリンクを疾走する競輪競技を観戦。また競輪場のスタッフに教わりながら、ルーム内にある「車券発売・払い戻し窓口」で実際に車券を買ってみたりして楽しみました。中には「ビギナーズラック」で予想的中させる人も出て、おいに盛り上がりました。

なお今回は3期生以外の特別参加者も2人あり、交流を深めました。